

施設の人権侵犯128件

うち99件は職員

法務省

法務省が20日に公表した「2017年における人権侵犯事件の状況」で、福祉施設の人権侵犯事件数が前年よ

り30件減の128件だったことが分かった。

法務省の人権擁護機関が新たに救済手続きを始めた事件は1万9533件。「暴行・虐待」が3219件（16%）で最も多く、「学校におけるいじめ」3169件（同）、「住居・生活の安全関係」2909件（15%）、「プライバシー関係」2705件（14%）と続く。

福祉施設の人権侵犯事件のうち99件は職員によるものだった。

また差別待遇785件の内訳をみると、障害者が272件で最も多く、同和問題86件、外国人84件、高齢者71件、HIV感染者等44件と続いた。

（井口拓治）